

2 学年通信



江戸川区立瑞江中学校

第 2 学 年

令和 7 年 10 月 31 日 第 13 号

● 大成功の瑞中祭 ●



10月25日(土)瑞中祭が終了しました。午前の部は合唱コンクール。トップバッターであった1年生も一生懸命な姿が印象的でした。みなさんも去年のことを思い出したのではないのでしょうか？3年生はさすがでしたね。2年生の座席から「3年生すごい！」なんて言う声が聞こえてきました。みなさんが目指すべき姿です。追いつき追い越せ…頑張ってください。

昨年度(1年時)の合唱コンクールから7か月が経ちましたが、みなさんの当日までの取組みや当日の合唱は、昨年度に比べ目を見張るものでした。みなさんの成長を多くの人々が感じてくれたことは間違いありません。そして、2年生としての役割をしっかりと果たしてくれたと思います。

午後の部では、2年生の代表生徒の弁論発表。C組の植木彩音さん、柳澤絆乃さんとともに、学年発表よりもさらに立派に自分の意見を主張してくれました。当日まで練習を重ねた努力を感じた発表でした。3年生の英語スピーチ。素晴らしかったですね。来年はみなさんの番ですよ。日々の授業を大切に、英語の力を磨いていきましょう！そして最後はMJB。少人数である迫力…、毎回感動しています。

何事も準備(練習)なくして成果は得られません。どれくらい自分が時間をかけ、心を向けて準備をしたかが結果につながるのです。

とても素敵な時間を過ごすことができた瑞中祭でした。お疲れさまでした！

● 明日から11月。定期考査を前に、3年生は・・・ ●

3年生にとって今回の定期考査は自分の卒業後の進路がしぼられる大事なものとなります。これまでの定期考査とはわけが違います。「次がんばろう」がありません。3年生たちはそんな中で真剣に学習に取り組んでいるはずですよ。先日も、高等学校の先生に来ていただき、面接の受け方の講義をしていただきました。

来年の今頃は、みなさんが同じ立場になります。「先のことを考えると不安だから考えない！」という人もいるかもしれません。でも確実にそんな時期はやってきます。だから今できることに全力で取り組みましょう。“全力でやる”クセをつけてほしいのです。定期考査が終わった後に、「まだやっていないだけで、やればできるんだ…」「次がんばれば…」などということがないように。合唱も学習も同じ、何事も準備が大切です。計画的に頑張りましょう。

● チャレンジ・ザ・ドリーム事後学習発表会 ●

チャレンジ・ザ・ドリームが終わり、事後学習を行っています。自分が学んだことをパワーポイントを使って伝えます。1年時の職業調べでプレゼンテーションをしましたが、そのと
きに比べて上達している人がたくさんいます。本日、事業所内発表が行われました。来週はグループ内発表を経て、11月7日(金)6校時に体育館で代表者による学年発表を実施します。保護者のみなさまもご覧いただければ幸いです。



● 体調管理をしっかりしよう ●

瑞中祭が終わりホッとしたのか、体調不良をうったえる生徒が今週増えてきました。予防のためにマスクをしている生徒も見られます。再来週には定期考査が控えています。食事・睡眠・うがい・手洗い…生活リズムを崩すことなく体調管理に努めましょう。



● 道徳『夜の果物屋』より ●

先週の道徳で「夜の果物屋」という題材を学習しました。



内容は、「合唱コンクールの練習で、夜遅く帰宅する少女が心細さを紛らわすために歌いながら歩いていました。そんな少女のために、毎晩営業時間を延長して明かりをつけていてくれた果物屋がありました。客として果物屋を訪れた少女は、偶然そのことを知り、果物屋の温かい心づかいに感謝する。」というものです。人に対する思いやり、それに対する感謝について学びました。

《生徒の感想》を紹介します。

- 人に感謝を伝えることはとても大切なことだと学ぶことができた。普段の感謝を友達に直接伝えることがないからとても良い機会になった。
- 気遣いに気づける人になろうと思った。
- 普段何気なくやってもらっていることがよく考えたらありがたいことだったりして感謝。
- 人と人の関係ってお互いが知り合いだからだけじゃなく、自分の知らない人でも、人と人とのつながりってできるんだろうなと思いました。
- いざ感謝を伝えたい人を考えるとたくさんありすぎて直接言うのがはずかしいけどしっかり伝えたいと思いました。
- さりげない心遣いにもすぐ気づいて感謝できるような人になりたいと思いました。
- 「ありがとう」と伝えたり言ってくれるとお互いがうれしい気持ちになるから「ありがとう」って言葉を大切にしたいです。
- 心遣いで人の気持ちを明るくしたり笑顔にしたりすることができるんだなと思った。
- はじめはどんな理由で明るかったかわかんなかったけど、そんな優しい理由だったとは思わなくて、私もこれからたくさんの優しさに気づけたらいいなと思いました。